

令和5年度 第2回 浜松市立泉小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年10月18日（水） 13時30分から15時30分まで
- 2 開催場所 浜松市立泉小学校 家庭科室
- 3 出席委員 鈴木章弘会長、仲田始副会長、岩崎まさの、新村友得、和田円、石澤光也、安藤幸枝
- 4 オブザーバー 山口朋章（高台協働センター）
- 5 学校支援コーディネーター 黒田 裕美子
- 6 学 校 校長、教頭、主幹、CS担当教諭、CSディレクター
- 7 会議録作成者 CSディレクター
- 8 協議事項

- （1）あいさつ運動について
- （2）いじめについて
- （3）教育課程の評価項目の改善

9 会議記録

司会から、委員総数7人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、新村委員からPTA会長の安藤委員を推挙する旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

熟議

（1）あいさつ運動について

- ・昨年度の第4回学校運営協議会において、町として泉校区の地域全体で取り組んでいきたいと思います。今年度ポスターを子供から応募して自治会に貼っていただくことになった。子供たちも慣れてきて知っている人にはあいさつ出来るようになってきたが、知らない人には気付いていないのか下を向いて通りすぎる子供もいた。児童会の運営委員会の方では張り切ってあいさつ運動に取り組んでいて、学校内でも自分たちで提案するようになってきた。（校長）
- ・ポスターをたくさん描いてくれたが貼ったあと処分してしまった。（仲田委員）
→原画は学校で保管しているので大丈夫です。（校長）
- ・泉町のホームページで見られるようにして、PRしようと思う。（鈴木委員）
- ・通りでなかなか大きな声であいさつができない。（校長）
- ・家の前で子供を見ながらあいさつ運動に参加したが、知らない人があいさつをしていると思う子供もいれば、積極的にあいさつしてくれる子供もいた。たすきがあればもっとしてもらえたのかと思う。秋祭りで顔を売ればいいのかと思った。（安藤委員）
- ・朝のあいさつは出来るが、「お帰り」のあいさつはちょっと戸惑う子供もいた。午後のあいさつがま

だだと思った。下校時に危ない帰り方をしている。比較的低学年の方が交通ルール守っているように感じる。(岩崎委員)

・あいさつ週間に関わらず、「泉小の子は本当にあいさつ出来ないね。」「他の小学校の子供たちは知らない人でもあいさつしてくれるのに。」と他地域の人に言われた。校内のあいさつは出来るのでどうして校外では出来ないのか子供たちに意見を聞いて次に活かしていった方がいいと思う。(和田委員)

・道路も大人が見ても分からない危険なところがあるのかもしれない。あいさつと一緒に見直してもいいかもしれない。(鈴木委員)

(2) いじめについて

・いじめの定義について校長から説明があった。

本校では、いじめを認知したら、教員2名以上で話を聞く等の対応をしている。ホームページにいじめ防止について掲載している。学期ごとに「なんでもアンケート」を実施している。

・早期発見対処は大事だが、いじめた子の心理があると思う。なぜいじめにはしまったか考えた方がいいと思う。家庭環境、ストレスもあるので問題解決にはならないと思う。加害者にも、それなりの理由がある。聞いてあげる方がいい。(鈴木委員)

→学校でも両方になぜそうなったかを聞いている。1～2時間かけて話をしている。(校長)

・いじめる側もいじめられる側、傍観者三者とも自尊感情が低い。自己表現が得意ではない。自分を大切にすると、人を大切にできる。相手を受け入れることができる。いじめる側が悪いと思われがちだが、いじめられる方も自分の主張ができればいいが、難しい。(安藤委員)

(3) 教育課程の評価について

・委員としては、子供と接していないのでどう判断してよいのか分からない。(仲田委員)

・下校時の見守りだけでは、話をしたとしても、学校での話ができない。(岩崎委員)

・サポートでは入るが、委員としての回答は、保護者と同じ内容だと内容を見ても分からないので無責任な回答は出来ない。保護者としては、改善されているのでとても分かりやすくなったと思う。(新村委員)

→回答欄も「わからない」を加えていこうと思い、だんだんと「わからない」という回答を減らしていこうと思う。(校長)

・重点目標の「自分に考えをもって～」は、今年は充実していると思う。そう思うのは、自分がボランティアで入ることが多いからだと思う。(和田委員)

その他報告事項

自己評価のアンケートを委員の皆様に出していただきたいです。

期日は12/8に学習発表会までをお願いします。

結果は次回に報告させていただきます。

教頭から、次回の会議は令和6年2月5日（月）13時30分～開催する旨の報告があった。